

印西市公共施設 ZEB 化指針策定支援業務委託

特記仕様書

1. 業務名

印西市公共施設ZEB化指針策定支援業務委託

2. 履行期間

契約締結日の翌日から令和8年3月25日まで

3. 業務の目的

本市において、ゼロカーボンシティ宣言の表明を契機として、市民・事業者・行政が一体となり2050年カーボンニュートラルの実現を目指すため、「いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050」を策定したところである。

本業務は、市が保有する公共施設等について、2050年までの脱炭素社会の実現に向け、公共施設等のZEB化指針策定及び具体的な施設調査を行うものである。

4. 業務内容

(1) 計画準備

業務実施にあたり、必要な資料収集を行うとともに、各業務内容についての作業実施方針や実施工程を検討し、業務計画書としてとりまとめる。

(2) ZEB 化に向けてのスクリーニング調査

市が保有する公共施設（令和6年度末時点 264 棟）について、エネルギー消費性能及び再生可能エネルギーの導入ポテンシャル量の把握を目的として、推計及びスクリーニングによって、ZEB 化の実現可能性を順位づける。

既存の建築図面、設備図面、過年度設備改修時資料、地図データや航空写真等を活用するとともに、構造図及び構造計算書の有無の確認を行うほか、必要に応じて現地に赴き、目視等を行い、屋根の状況や日照等の状況を調査する。

(3) 消費エネルギー削減に関する具体的な調査と検討

上記（2）に基づき、ZEB 化の実現可能性を考慮の上、5 施設程度を目安として、抽出及び市と協議の上で施設を選定し、実際に現地施設を具体的に調査する。

その際、具体的な現地調査に基づき、現状のエネルギー消費削減及び二酸化炭素排出量を把握するとともに、以下の項目によるエネルギー消費削減及び二酸化炭素排出量削減量を具体的に推計し、照明、空調、熱源、外皮断熱等について検討する。

ア. 設備の高効率化

イ. 燃料転換

ウ. 外皮断熱性能向上

エ. 再生可能エネルギーの導入との組み合わせ

オ. その他設備導入にあたっての制約・課題等

(4) 再生可能エネルギーの導入に関する具体的な調査と検討

上記（3）で対象とする施設について、再生可能エネルギーについて、1年間の毎時の発電量、日射量を推計し、施設ごとに導入可能な設備容量、太陽光パネルの設置位置、設置方法について、調査・検討する。なお、図面等の書面情報は市より供与するものとする。

ア. 設置可能スペース（屋根の防水状況、据付工事・運転保守に必要なスペース等も考慮）

- イ. 施設の電力使用量
- ウ. 周辺環境（近隣住民等生活環境、景観、その他立地場所・設置状況からくる制約等）
- エ. 災害リスク
- オ. 積載荷重等構造上の制約
- カ. 施工上の制約
- キ. 既設太陽光発電設備の状況及び更新の必要性
- ク. 蓄電池（電気自動車・燃料電池車含む）追加導入
- ケ. その他設備導入にあたっての制約・課題等（施設活用予定や、防水シートの状況等）

（５）ZEB 化指針策定支援

上記（１）～（４）による考慮すべき地域特性、環境特性、消費エネルギー削減量、再生可能エネルギーの導入量等の調査結果を踏まえて、ZEB 化指針策定支援を行う。

（６）報告書の作成

上記（１）～（５）の結果等を取りまとめた報告書を作成する。

（７）打合せ・協議

本業務を円滑に実施するため、打合せ・協議は、初回、中間（３回程度）、納品時のほか、必要に応じて適宜実施する。

５．成果品

（１）提出すべき成果品とその部数は次の通りとする。

- ① 業務報告書（A4 ファイル形式）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２部
- ② 報告書概要版・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 一式
- ③ 業務報告書及び概要版電子データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 一式
- ④ その他関連資料（本業務で作成した資料データ）・・・・・・・・ 一式

（２）成果品の作成に当たっては、その編集方法についてあらかじめ発注者と協議する。

（３）製本はすべて表紙、背表紙ともにタイトルをつけ、直接印刷したものとする。